

平成30年度 学校経営計画書

石川県立輪島高等学校定時制

校長 赤田 英明

1 教育目標（目指す生徒像）

グローバルな視野を持ち地域に貢献できる自立した社会人（グローバル人財の育成）

《 校 訓 》

- ① 誠実 : あたたかい心のふれあいを大切にする
- ② 覇気 : 何事にも意気込みを持って積極的に取り組む
- ③ 努力 : 目的達成のために常に力を尽くして励む

2 中・長期的目標（経営方針）

(1) 学校の現状

- ①本校は「働きながら学ぶ生徒」も含めた、「多様な生徒が学ぶ学校」であり、適切な教育支援を行うために生徒の家庭環境や生育歴を把握し、生徒が自ら人生を歩む力を育成するために組織的な生徒指導・教育相談・学習指導・進路指導の充実が求められている。
- ②地域に生まれ育ちながら地元の伝統文化や自然の素晴らしさに気づかないまま青年期を迎えた生徒が多いため、里山里海保全活動などの「ふるさと学習」を通して、豊かな心と逞しく生きる力の育成が求められている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ①生徒の実態に即したわかりやすい授業を展開し、基礎・基本の習得を図り、学習意欲を高める。
- ②社会人としてふさわしい挨拶や言葉遣いができるなど、他者と円滑にコミュニケーションを行うことのできる力を育成する。
- ③ふるさとを愛し、地域の文化や伝統を尊重する態度を育み、将来、地域に貢献しようとする意識を高める。

(3) 教職員や学校組織等の望ましい在り方

- ①校長の学校経営方針のもと、定量的分析に基づいた目標管理型の学校経営を推進し、組織的な教育力を高める。
- ②学校経営参画意識を持って課題に対して速やかに対応し、生徒から信頼される「人間力」を高める。
- ③校外・校内研修等により学習指導・生徒指導・進路指導における専門性を高め、学校全体の教育力を高める。

3 今年度の重点目標

(1) 学ぶことよりの喜びを実感できる学校

- ①ICTを活用するなど興味関心を高める授業を展開し、学習に意欲的に取り組む姿勢を育成する。
- ②授業への主体的な取り組みを通して基礎基本を習得させ、やればできるという学びに対する自己肯定感を醸成する。

(2) 社会人基礎力を向上できる学校

- ①社会人として求められる挨拶・言葉遣いの指導を通して、場に応じた適切な行動ができる生徒を育成する。
- ②時間の自己管理意識を高める指導を通して、社会人として必要な素養を身に付ける。
- ③他を認め合う雰囲気醸成し、いじめを許さない姿勢を確立させる。

(3) 地域愛を育む学校

- ①ふるさと学習への積極的な参加を通して郷土貢献意識を高め、グローバル人財の育成を図る。
- ②伝統文化や恵まれた自然を教材とした体験を通し、協働的に活動する姿勢を育成する。